

第1学年1組 国語科学習指導案

指導者 教諭 泉 朋子
場 所 1年1組教室

- 1 単元名 「わくわく みっけブック」でともだちにしらせよう
～一ばんのお気にいりを 見つけたよ～
「たぬきの糸車」(光村図書1年下) 「ねずみのすもう」他作品

2 単元を通して位置付ける言語活動とその特徴

(1) 付けたい力と単元を通して位置付ける言語活動

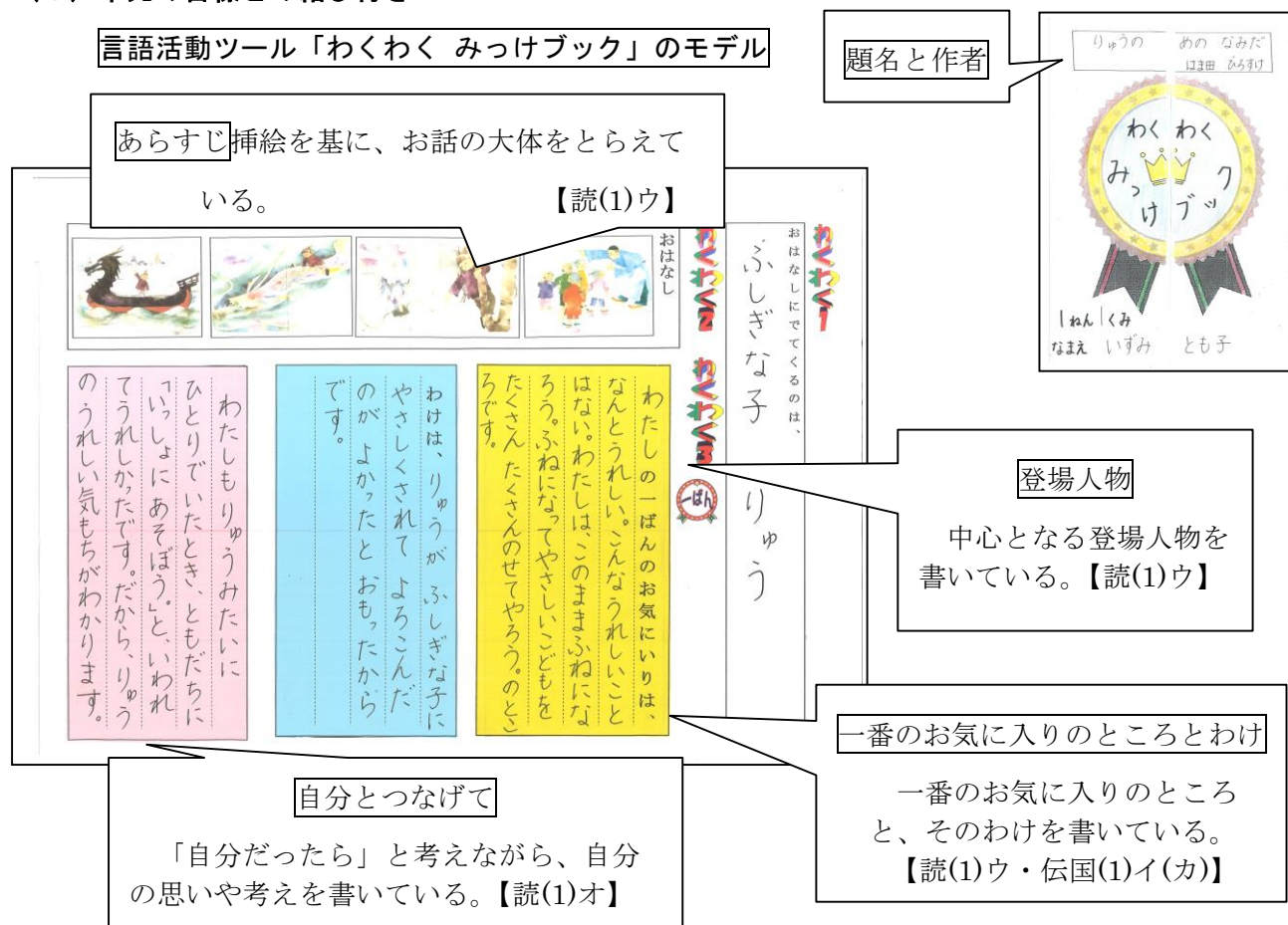
本単元では、物語の展開からお気に入りのところを登場人物の行動を中心に見付け、自分の知識や経験と結び付けて読む力を付けることをねらっている。

単元を通して位置付ける言語活動として、民話・昔話・動物が出てくる本を読み、自分の一番のお気に入りのところを「わくわく みっけブック」にまとめ、お話会「お気に入り聞いての会」で紹介する活動を行う。「わくわく みっけブック」は、主に「人物」「おはなし」「一ばんのお気に入りのところ」「わけ」で構成する。

(2) 言語活動がもつ特徴

1年生の児童が物語を読んで、「ここが好き！」と思うのは、自分の感覚やこれまでの経験、登場人物の行動の変化から心に響いたところと出会ったときである。そこで、「一番のお気に入り」を見付け、その理由を考えるために、登場人物の行動を手がかりに想像を広げて読み、自分の知識や経験と結び付けて読むことを目指している。また、「わくわく みっけブック」にまとめ、友達と自分の好きなところを紹介し合うことで、自分の「大好き！」が明確になり自分の思いを深めるとともに、友達の思いや考えに触れ、読みを広げていくことができる。

(3) 単元の目標との結び付き



3 単元について

(1) 単元の設定

本単元は、小学校学習指導要領「C 読むこと」領域の「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと」を主なねらいとしている。

本単元では、主教材として「たぬきの糸車」を取り扱う。本教材は、登場人物がたぬきである。登場人物に同化しやすいこの時期の児童にとって、たぬきと同化しお話の世界に浸りやすいものとなっている。また、たぬきの会話が一つもないという文章の特徴から、自由にたぬきの言葉を考えることができ、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことに適した教材である。さらにおかみさんの言葉を合わせて考え、「いたずらもんだが憎めない」たぬきの行動の変化と自分たちの経験を結び付けることで、お気に入りのところの読みを深めることができると考える。

関連図書でも、動物が出てくる話を取り上げることで、教科書教材と同様に想像を広げ興味をもって読み進めることが期待できる。

(2) 指導内容の系統について

1 年 9 月 おはなしをたのしもう 「ゆうやけ」	〈本単元〉 1 1 月 「わくわく みつけブック」でともだちにし らせよう ～ーばんのお気にいりを、見つけたよ～ 「たぬきの糸車」	1 年 1 2 月 本を えらんで よもう 「ずうっと、ずっと、 大すきだよ」
---------------------------------	--	--

(3) 児童の実態

本学級の児童は 33 名。(特別支援学級在籍の児童 1 名を含む。)

① 同系統の前単元の学習から

児童は「おはなしをたのしもう『ゆうやけ』」において、登場人物の吹き出しを付けて想像して読んだり、好きなところを見付けたり、想像を広げて読むことを楽しんだ。好きなところを考えながら読む学習をしている。その際に、「大すきなところ」「大すきなわけ」「自分とつながった感想」を「わくわく みつけブック」に書いて紹介する活動を行っている。また、同様の活動を、関連図書でも行い、好きなところは同じでも理由が違うことを知り、互いに紹介し合うことを楽しんだ。

その授業後の調査の結果、以下のような実態が見られた。

項 目	A 及び B に達している人数
ア 中心となる登場人物が分かる。	31 人
イ 挿絵や叙述を基にお話の内容の大体を読むことができる。	27 人
ウ お話の好きなところを見付けることができる。	33 人
エ 好きなわけやお話と自分の経験をつないで考えることができる。	21 人

- ・ アとイから、ほとんどの児童がお話に出てくる登場人物やお話の大体をとらえていることが分かる。
- ・ ウとエから、物語の好きなところは見付けられるが、物語と自分の経験をつなぐことを苦手としている児童が多い。生活経験が少ないことや経験したことを忘れてしまっているためと思われる。どの児童も体験していることを提示することで実感を伴った読みができるようにする必要がある。また、語彙が少なく十分に思いを膨らませられずにいる児童がいる。そこで、感想の言葉をまとめておくことで自分の思いに近い言葉を選び、自分の思いを表現できると考える。

② 平成 28 年度 7 月の実態アンケート結果と考察

質 問	とても	まあまあ
ア 国語の学習は楽しいですか。	22 人	7 人

イ 国語の時間に友達と話し合うことは楽しいですか。	26人	6人
ウ カード（言語活動ツール）作りは好きですか。	33人	0人
エ 本を読むことは好きですか。	28人	2人

- ・ 国語の学習は、ほとんどの子どもが、新しいお話に出会ったり、友達の思いを聞いたりしながら、言語活動ツールにまとめたりすることを楽しんでいる。自分の考えを発表することにも少しずつ慣れてきているが、最後まで集中して話を聞いたり、自分の思いを膨らませたり、伝えたりということは十分ではない。交流を有効的なものにすることで学習に意欲的に参加できると考える。
- ・ 友達と一緒に本を眺め楽しく会話し、友達が読んだ本が、本を選ぶきっかけとなっている児童も多くいる。授業で学習した物語と同じものを図書室に行き借りてくる姿も見られた。しかし、まだ文字に抵抗がある児童もいる。そこで、友達の話を聞くことで読書の楽しさを味わうことができるような手立てを考えていく必要があると考える。

（４）指導上の留意点

- 本単元のツール「わくわく みつけブック」では、挿絵を並べる活動をもとにあらすじを語らせることで、「時・人物・場所」をとらえた物語全体の把握ができるようにする。また、自分のわくわくした思いを膨らませ、友達に伝えるといった相手や目的意識をもたせることで児童の意欲を高めるようにする。
さらに、自分の思いを伝えるために「一番のお気に入りのところ」「わけ」「自分とつなげて」を色分けし、「きもちをつたえることば」（感想語彙カード）と同じ色分けにすることで、記述の仕方を視覚的にとらえることができるようにする。
- 文章中にはないたぬきやおかみさんの言葉を考えさせ、想像を広げて読むようにするために、登場人物をその様子や行動を表す言葉とともに押さえる「なりきり吹き出し」を活用する。
- より豊かな感想をもち、自分と重ねながら体験を想起したり、思いを膨らませたりできるように、物語につながる共通体験を児童が思い出せるような写真等を用意する。
- 「自分の『一番のお気に入り』を絞り込むために友達の考えを聞く」、「理由をうまく伝えられないから自分の気持ちと近い理由を見付けるために聞く」、といった交流の目的意識を明確にすることで、児童が必要感をもって聞かせるようにする。また、「聞き方名人」を提示し共感的態度で受容する雰囲気となるようにする。
- 関連図書は「たぬきの糸車」のように、登場人物が多く出てこないもの、生き物が出てくるもの、場面展開や人物の変容が明確なものなどの本を選定した。
「ねずみのすもう」（小澤俊夫） 「うまかたとこだぬき」（香山美子）
「ラチとライオン」（マレーク・ベロニカ） 「きつねのおきやくさま」（森山みやこ）

4 単元の目標と評価規準

単元の目標		◎物語の一番のお気に入りのところを見付け、登場人物の様子や行動を手掛かりに想像を広げながら読むことができる。【読むこと（１）ウ】 ◎文章の内容と自分の経験とを結び付けて、一番のお気に入りのところについての思いをまとめることができる。【読むこと（１）オ】【伝国（１）イ（ウ）】	
単元を通して位置付ける言語活動		「自分の一番のお気に入りのところを『わくわく、みつけブック』にまとめ、お話会『お気に入り聞いての会』で紹介する言語活動」を通した指導	
評価規準	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
	①お気に入りを見つけて紹介することに興味をもち、読みたい本を選んで選ぶとしている。 ②吹き出しを活用して想像をして読むことを楽しんでいる。	①お気に入りのところに着目し、登場人物の様子や行動を中心に想像を広げ読んでいる。（１）ウ ②お気に入りのところについて自分の知識や経験を結び付けて、自分の思いをまとめている。（１）オ	①感想を表す言葉を理解して使っている。

5 単元指導と評価計画（10時間取扱い・本時6時間目）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価基準及び評価方法
1	1	<p>○昔話の本の読み聞かせを聞き、教師が作成した「わくわく みっけブック」のモデルを見て、学習のイメージとお話会「お気に入り聞いている会」への見通しを具体的にもつ。</p> <p>○教師が提示した関連図書を見て、読んでみたいお話を選ぶ。</p>	<p>・モデルを提示することで、単元のゴールをイメージできるようにする。</p>	<p>【関①】(発言・観察) お気に入りを見つけて紹介し合うことに興味をもち、読みたい本を選んで選ぶとしている。</p>
2	2・3	<p style="text-align: center;">パズル方式</p> <p>○お話会に向けて「たぬきの糸車」の読み聞かせを聞いて人物設定を確認し、登場人物がしたことを見付け、挿絵を基に、お話の大体をとらえる。</p> <p>○お話会に向けて、同じ本を選んだペアで、本を読み人物設定を確認し、登場人物がしたことを見付け、挿絵を基に、お話の大体をとらえる。</p>	<p>・物語のあらすじを押さえるために、「時・人物・場所」をとらえながら、挿絵を並び替えさせる。</p>	<p>【読①】(発言・カード) 登場人物が分かり、挿絵を並び替えながらお話の大体をとらえている。</p>
	4・5	<p>○お話会に向けて「たぬきの糸車」の好きなところに、「なりきり吹き出し」を当てながら音読し、登場人物の思いを想像する。好きなところに付箋を貼りわけを考える。</p> <p>○お話会に向けて、選んだ本の好きなところに、「なりきり吹き出し」を当てながら音読し、登場人物の思いを想像する。好きなところに付箋を貼りわけを考える。</p>	<p>・想像を広げて読むために、「なりきり吹き出し」を当て登場人物の言葉を想像させる。</p> <p>・本を読み慣れていない児童の抵抗を少なくするために、ペアで本を読ませる。</p>	<p>【関②】(発言・観察) 「なりきり吹き出し」を使って、想像を広げ楽しんで読んでいる。</p> <p>【読①】(発言・付箋・シート) 人物の思いを想像しながら、お話の好きなところを見付けている。</p>
	6(本時)	<p>○お話会に向けて、お話の一番お気に入りのところを、自分なりのわけを明らかにして見付ける。</p> <p>○お話会に向けて、自分が選んだ本で、一番お気に入りのところを見付ける。</p>	<p>・必要感をもって聞くために、友達のお気に入り聞くことで、自分のお気に入りのところを明らかにするという交流の目的を明確にする。</p> <p>・自分の気持ちと結び付けることが難しい児童のために、感想語彙カードを持たせる。</p>	<p>【読①】(発言・付箋・カード) 交流を通して、お話の一番のお気に入りのところを、自分なりのわけを明らかにして選んでいる。</p>
	7・8・9	<p>○お話会に向けて、一番のお気に入りのところとそのわけ、登場人物と自分をつなげた感想をノートにまとめ友達に紹介する。</p> <p>○お話会に向けて、自分が選んだ本の一番のお気に入りのところとそのわけを明らかにし、登場人物と自分をつなげた感想を「わくわく みっけブック」に書く。</p> <p>○お話会の進め方を確認する。</p>	<p>・自分の気持ちを豊かに表現するために、感想語彙カードを持たせたり教師が作成した「わくわく みっけブック」のモデルを提示したりする。</p> <p>・お話会での目的をもたせるために友達が紹介する本のお気に入りについてもっと聞きたいところなどのようなことかなど、お返しの言葉のポイントを確認する。</p>	<p>【読②】(発言・カード) お話と自分の経験をつなげ、一番のお気に入りのところについての思いをまとめている。</p> <p>【言語①】(発言・カード) 気持ちに合った感想の言葉を使っている。</p> <p>【関①】(発言・観察) 友達が紹介するお気に入りについて、もっと知りたいという思いをもっている。</p>
	10	<p>○お話会で「わくわく みっけブック」を使って、自分が選んだ本の一番のお気に入りを紹介しながら、民話や昔話等を楽しむ。</p> <p>○自分の身に付いた力をノートに書く。</p>	<p>・必要感をもってお話会に参加するために、お話会の目的をもたせる。</p> <p>・掲示物等を活用し学習内容を思い出させる。</p>	<p>【関②】(観察・発言) 進んでお気に入りのところを伝え合っている。</p> <p>【読②】(ノート) 自分の思いを伝えるための読み方を振り返りまとめている。</p>

6 本時の学習

(1) 目標 友達と交流することで、場面の様子や登場人物の行動、自分の経験との結び付きなど、自分なりのわけを明らかにして、お話の中から一番のお気に入りを選ぶことができる。

(2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	○主な発問や指示 ・指導上の留意点 ◆評価	備考
つかむ 5分	1 本時の課題をつかむ。 【一斉】 <div>おはなしの「金メダルをあげたいところ」 (一ばんのお気にいり)を見つけよう。</div>	・学習計画表を基に本時のめあてと学習の進め方を確認する。	学習計画表 全文掲示 全文シート
分かる 20分	2 好きなどころを出し合い、そのわけを考える。 (1)「たぬきの糸車」で選んだ複数の好きなどころを確認する。 【ペア】 (2)友達の好きなどころとそのわけを聞いて、自分の好きなどころとそのわけを明らかにしていく。 【ペア】 【一斉】	・全員の好きなどころが視覚的に分かるように、好きなどころに記名した付箋を貼った全文掲示をしておく。 徹底指導(ポイント) ◎全文シートに自分の好きなどころと考えた場所を確かめるようにする。 ・友達のよいところを取り入れるために友達の考えを聞くようにする。 能動型学習(ポイント) ◎登場人物の行動や気持ちと、自分の体験とを結び付けて想像を広げるために、共通体験を取り上げ交流させる。 ・上手になった時の気持ちを思い出すきっかけにするために作品等を見せる。	全文シート 「聞き方名人」 「反応名人」 「玉入れ」の絵猫の写真
深める 15分	3 交流したことを基に、自分の一番のお気に入りを選び、友達に伝える。 (1)金メダルのところを選び、赤線で囲み、全文掲示に付箋を貼る。 【個人】 (2)金メダルのところとそのわけを伝える。 【ペア】 4 自分の選んだ本の好きなどころから金メダルを選び、印を付ける。 【ペア】	・金メダルを選ぶ時の自分なりの視点(心に残ったところ)を明らかにするために、何に着目すればよいか、手がかりを共通理解できるようにする。 <div>○あなたが選ぶ金メダルは、お話の中の一番どんなところですか。</div> ・全員の金メダルのところが視覚的に分かるように、全文掲示に記名した付箋を貼るようにする。 ・大好きを広げるために友達のわけを聞くようにする。 ○友達の選んだわけを聞いて、大好きをもっと広げましょう。 ・自分の選んだ本から一番のお気に入りを見付けるようにする。 ◆読む能力①(発言・付箋・シート) B:交流を通し、場面の様子や登場人物の行動、自分の経験との結び付きなど、自分なりのわけを明らかにして、お話の一番のお気に入りのところを選んでみる。 (Bに達しない子への手立て) 交流や語彙カードから、自分の思いに近いものを考えさせるようにする。	全文シート 付箋 語彙カード「きもちをつたえることば」 「反応名人」 関連図書
振り返る 5分	5 本時の学習をまとめる。【一斉】	○見付けた金メダルは、お話の中の一番どんなところでしたか。	ツール

